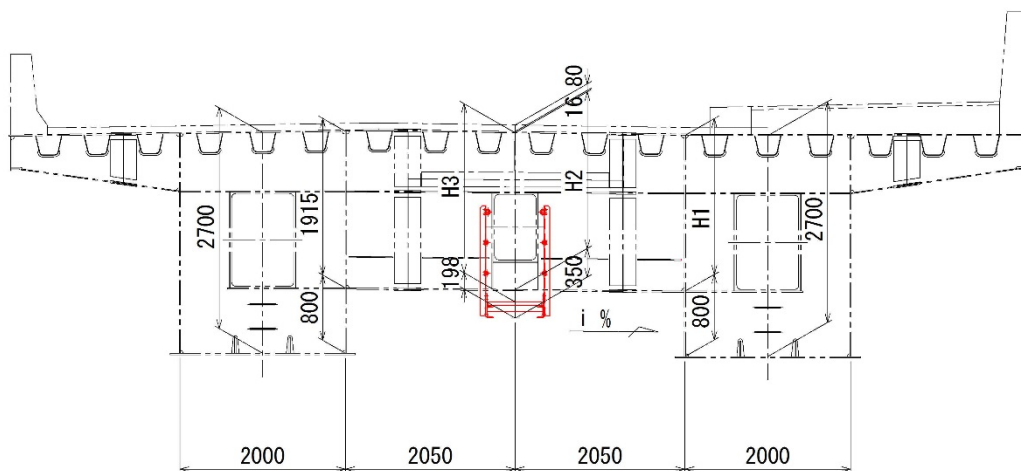


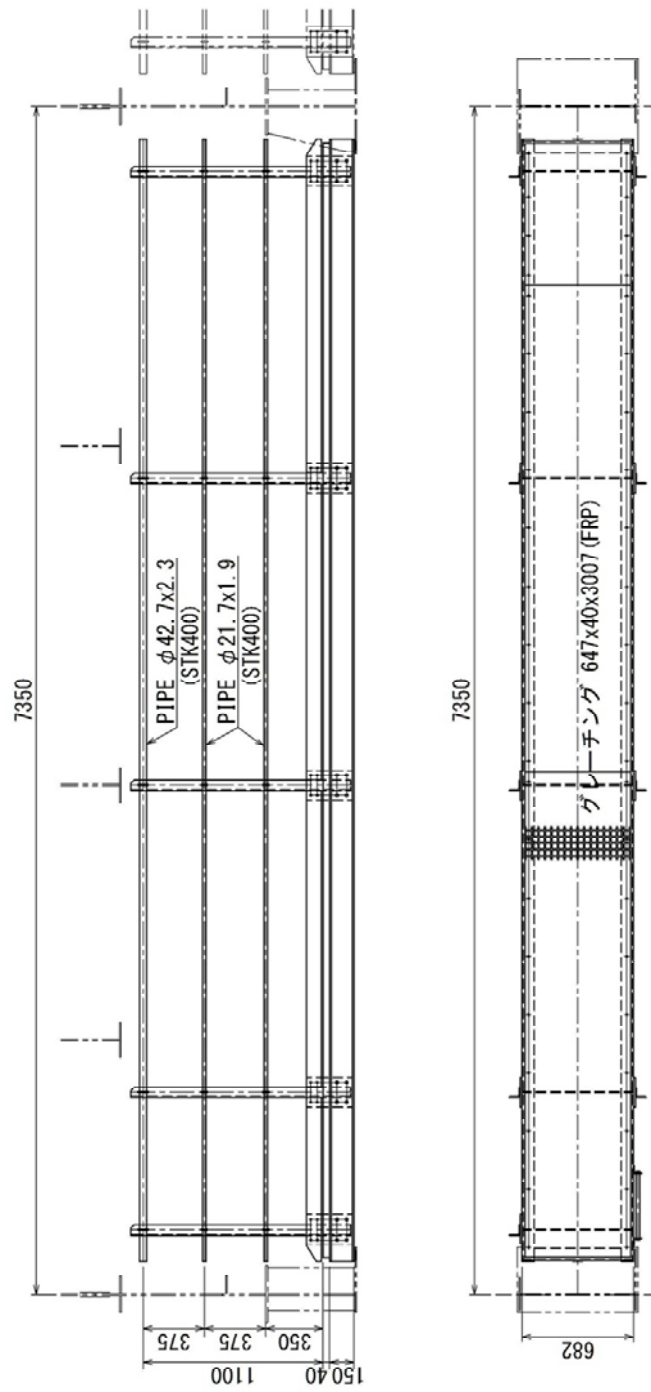
維持管理に配慮した構造細目や工夫事例

No.	2-5	
基本情報	構造形式	橋梁(上部工)
	設計年次	平成 25 年 3 月(防蝕工)
	建設年次	平成 29 年 3 月(予定)
維持管理に 配慮した 構造細目や 工夫	項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上部工(鋼製)防食工:金属溶射(アルミ・マグネシウム合金)の採用 ・ 検査路構造:FRP 床版の採用と防蝕工の工夫
	検討時期	細部設計段階
	理由・期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上部工(鋼製)の維持管理(防蝕)の低減に着目し、防蝕工について、従来の防蝕(塗装)に比べ LCC で優位となる金属溶射(アルミ・マグネシウム合金)を採用している。 ・ 検査路(歩廊式)の床版について、腐食のない FRP グレーチングを採用するとともに、枠組の主な鋼材については従来の防蝕(溶融亜鉛メッキ)に比べ LCC で優位となる金属溶射(アルミ・マグネシウム合金)を採用している。
	主な使用材料	防食工:金属溶射(アルミ・マグネシウム合金) 検査路構造:FRP 床版

図面



橋梁断面図



検査路一般図